大垣市奥の細道むすびの地記念館学 芸事業報告書

平成 30 年度

大垣市教育委員会

目 次

1	J	展力	活動	勤・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	(1)	常	常設具	展示	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1	
	(2)	í	三画月	展示	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2	
	(1	第	22 E	可企	三世	Ī厘	Ę	崖	雪	生っ	ごす	<u>-</u> }	17	5Ē	古蕉	長0	つ <i>告</i>	ΕŒ	£(2	2)																
									~	J		笠の)/	レブ	۲』	0	つ方	をた	اِ دا		ſø	且0	り糸	近田	直』	0	つ方	をへ	<u> </u>	_	•	•	•	•	2		
	(2)	第	23 E	可企	重	Ī压	Ę	汐	짓	糸	工廈	訂																								
									~	~ {	てど	たて	ל	〕	呵复	₹0	う <u> </u>	善	電 た	2 %	5±	世星	早~	_	•		•	•	•		•	•			4		
	(3)	第	24 E	可介	: 祖	ī展	È								貞 2																					
	Ì		710		,	-,	1/-	`												`> <i>~</i>	_			•	•		•	•			•	•			6		
											= "	.	<i>\'</i>	~~	<u> </u>	V	I C	_ 0	ν L	-															Ü		
2	±	幼言	7 • 1	些 及	汪i	計										•								•													R
	(1)		, -般[O
	` '	<u>1</u>)		可展																																	
		_		^{四皮} 売講																																	
		2)																																			
		3		合監																																	
		4		ャラ																																	
	(2)		د نے <u>ہے</u> 																																		
	(3)		身物負																																		
	(4)	詩	春師 》	派遣	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	14	
3	Ì		り																																		
	(1)	字	引附近	資料	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	16	
	(2)	賏	 【	資料	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	17	
	(3)	孙	託	資料	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18	
	(4)	篁	科科	補修	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	• ;	21	

1 展示活動

(1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場面を、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場面を再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、"俳人芭蕉"だけでなく、"人間 芭蕉"の魅力にも触れることができる。

② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢 5 人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巌、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の 著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

(2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年 3 回 開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関 連の企画展を開催している。

- ① 第 22 回企画展 真筆でたどる芭蕉の生涯② ~ 『笈の小文』の旅から『奥の細道』の旅へ~
 - 1) 内 容

旅を通じて花月の風流を体現することが、わが「風雅」であると感じ始めた 芭蕉。

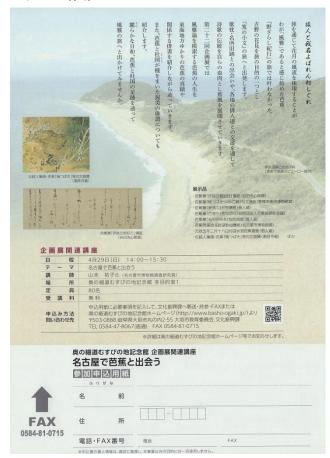
『野ざらし紀行』の旅では叶わなかった吉野の花見を旅の目的の一つとし、『笈の小文』の旅へと出発する。歌枕や名所旧跡との出会いや、各地の俳人たちとの交遊を通して、詩歌の伝統を自らの血肉とし、蕉風を展開させていく。本企画展では、風雅論を模索する芭蕉の人生を、東海地方ゆかりの芭蕉の真

本企画展では、風雅論を模案する芭蕉の人生を、東海地方ゆかりの芭蕉の具 筆や関係する俳書を紹介しながら辿った。また、芭蕉と杜国が種をまいた渥美 の俳諧についても紹介した。

- 2) 会 期 平成30年3月24日(土)~5月13日(日)
- 3) 会 場 1 階企画展示室
- 4) 主 催 大垣市·大垣市教育委員会
- 5) 入館者数 5,793人
- 6) 出品点数 26点(パネル展示は除く)
- 7) 主な展示資料
 - · 芭蕉筆「伊良古崎紀行」懐紙(岩田洗心館蔵)
 - ・芭蕉筆「梅つばき・いらご崎」句文懐紙(豊橋市美術博物館蔵)
 - ・芭蕉筆「麦蒔て」三物懐紙(個人蔵)
 - ・ 芭蕉筆「古里や」発句切(公益財団法人芭蕉翁顕彰会蔵)
 - ・芭蕉筆「ものの名を」句文色紙(個人蔵)
 - · 芭蕉等筆鳴海眺望歌仙懐紙(名古屋市博物館蔵)
 - •元禄5年2月18日付曲水宛芭蕉書簡(個人蔵)
 - ・伝越人筆画・芭蕉「梅つばき」等句文画賛(潮音寺蔵) ほか
- 8) 関連事業 企画展関連講座 (8 頁に掲載) ギャラリートーク (9 頁に掲載)
- 9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録 (カラー32頁)



チラシ (表)



チラシ (裏)

② 23回企画展 梁川紅蘭

~女流文人画家の華麗なる世界~

1) 内容

19世紀の前後になると、京・大坂・江戸の三都ばかりでなく、地方の富裕層などにも知識人層が拡大する。知識人層の拡大は、詩文や書画に親しむ文人の増加をもたらすとともに、教育環境に恵まれた女性の中から優れた漢詩人や画家を生み出すこととなる。

そうした代表的な女性画家の一人として挙げられるのが梁川紅蘭である。紅蘭は、幕末・維新期の激動の時代に、夫の星巌とともに各地を訪ね、多くの志士・漢詩人・画家らと交流する。そして、自立した一人の女性画家として活躍し、数多くの作品を残している。

本企画展では、紅蘭の波乱に満ちた人生とともに、その華麗なる作品の数々を関連する資料を交えながら紹介した。

- 2) 会 期 平成30年7月14日(土)~8月26日(日)
- 3) 会 場 1 階企画展示室
- 4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会
- 5) 入館者数 2,711人
- 6) 出品点数 18点(パネル展示は除く)
- 7) 主な展示資料
 - · 梁川紅蘭筆 群蝶図(個人蔵)
 - · 梁川紅蘭筆 花鳥図(個人蔵)
 - ·梁川紅蘭筆 山水図(華溪寺預託稲津家資料)
 - ・梁川紅蘭・日根対山筆 頼三樹三郎賛 蘭竹昆喜図(当館蔵)
 - ·梁川紅蘭筆 月梅図(当館蔵)
 - ・梁川紅蘭筆 蘭石図(岐阜県歴史資料館蔵「名流婦人寄書画巻」より)
 - •「梁川紅蘭女史画帖」(華溪寺預託稲津家資料)
 - 梁川紅蘭宛宇田淵書簡(華溪寺預託稲津家資料)
 - ・梁川紅蘭愛用の七弦琴(当館蔵)

ほか

- 8) 関連事業 企画展関連講座(8頁に掲載) ギャラリートーク(9頁に掲載)
- 9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録 (カラー32頁)



チラシ (表)



チラシ (裏)

- ③ 24回企画展 真筆にみる芭蕉と大垣 ~重ねる交遊、深まる心~
 - 1) 内容

大垣は美濃路と水門川が交差する水陸交通の要衝として、人・経済・文化の 交流が盛んであった。そうした背景のもと俳諧文化が醸成され、江戸以外で早 い時期から芭蕉に心を寄せる俳人が多くあらわれた。

芭蕉にとって大垣は、『野ざらし紀行』の旅で旅の緊張から解放された安息の地であり、『奥の細道』の旅で「むすびの地」となる、かけがえのないまちであった。芭蕉が大垣俳人に宛てた手紙には細やかな心配りがかいま見られ、一方、大垣俳人の活動からは芭蕉を慕っていたことがわかる。

本企画展では、芭蕉と大垣俳人との交遊について、芭蕉の発句や書簡、俳書 を紹介しながらたどった。

- 2) 会 期 平成30年9月29日(土)~11月11日(日)
- 3) 会 場 1階企画展示室
- 4) 主 催 大垣市·大垣市教育委員会
- 5) 入館者数 5,439人
- 6) 出品点数 28点(パネル展示は除く)
- 7) 主な展示資料
 - ・芭蕉筆「ひよろひよろと」発句画賛(個人蔵)
 - ・芭蕉筆「隠家や」発句懐紙(個人蔵)
 - ・芭蕉筆「こもり居て」発句短冊(個人蔵)
 - ・天和2年3月20日付木因宛芭蕉書簡(大垣市立図書館蔵)
 - ・元禄4年10月3日付如行宛芭蕉書簡(個人蔵)
 - ·元禄5年10月13日付如行宛芭蕉書簡(個人蔵)
 - · 木因句文巻 (天理大学附属天理図書館蔵)
 - ・元禄3年4・5月頃又七(乙州)宛芭蕉書簡(当館蔵) ほか
- 8) 関連事業 企画展関連講座(8頁に掲載)

ギャラリートーク (9 頁に掲載)

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録 (カラー32 頁)



チラシ (表)



チラシ (裏)

2 教育・普及活動

(1) 一般向けの活動

① 企画展関連講座

月日	内 容	講師	参加者
平成30年4月29日(日)	第 22 回企画展関連講座 名古屋で芭蕉と出会う	名古屋市博物館 調査研究員 山本 祐子	70 人
8月18日(日)	第 23 回企画展関連講座 張(梁川)紅蘭の旅と絵画	実践女子大学教授 仲町 啓子	95 人
10月28日(日)	第 24 回企画展関連講座 芭蕉は鼠ヶ関を越えたのか 一「おくのほそ道」の番所に ついて一	作家、歴史研究家 金森 敦子	71 人

② 連続講座

1) 芭蕉大学

月日	内容	講師	参加者
平成30年6月10日(日)	〈芭蕉像〉を読む 一讃える絵画の読解術—	三重県立美術館 学芸員 道田 美貴	60 人
7月15日(日)	なぜ歌うのか―芭蕉と蕪村―	東洋大学教授 谷地 快一	65 人
8月5日(日)	『おくのほそ道』と漢詩文 一和と漢のハーモニー—	國學院大學栃木短期 大学教授 塚越 義幸	66 人
9月9日(日)	芭蕉の作品を編んだ人々 一最初の芭蕉句集・文集の誕生 物語—	大阪青山大学 短期大学部教授 三木 慰子	60 人

2) 先賢大学

月日	内容	講師	参加者
平成30年 12月2日(日)	京における星巌	霊山歴史館副館長 木村 幸比古	68 人
平成 31 年 1月 27 日(日)	南條文雄 一大垣に生まれた世界的な近代 仏教学者—	同朋大学教授 安藤 弥	57 人
2月10日(日)	青墓の傀儡師たち 一乙前を中心に—	川村学園女子大学 准教授 辻 浩和	63 人

③ 総合監修者講演会

月日	内 容	講師	参加者
平成 30 年	芭蕉の生涯と句風の変遷	和洋女子大学教授	GG A
11月25日(日)	巴焦の生涯と可風の多遷	佐藤 勝明	66 人

④ ギャラリートーク

月日	内容	講師	参加者
平成 30 年			1 00
3月25日(日)			28 人
4月1日(日)	第 22 回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	10人
4月8日(日)			7人
5月6日(日)			14 人
5月13日(日)			14 人
7月22日(日)			7人
7月29日(日)	 第 23 回企画展ギャラリートーク	 担当学芸員	10人
8月12日(日)	第23 回正画展 イヤクケード・クー	担当于云貝	2 人
8月26日(日)			8人
9月30日(日)			4 人
10月14日(日)	 第 24 回企画展ギャラリートーク	 担当学芸員	4 人
11月4日(日)	初 2 # 四正四成 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	153十五只	24 人
11月11日(日)			4 人

(2) 子ども向け活動・学校との連携活動

① 大垣市内小学校6年生見学事業

市内小学校全22校、1,514人(引率職員を含む)を受け入れた。

平成30年度 大垣市内小学6年生奥の細道むすびの地記念館見学日程

	学校名		参加人数	: (人)			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	日程
(大	垣市内22校対象)	児童	引率 職員	計	クラス	月日	曜	見学時間
1	西 小学校	91	3	94	3	5月16日	水	9:00~12:00
2	日新 小学校	24	2	26	1	6月7日	木	9:00~12:00
3	時 小学校	9	2	11	1	6月13日	水	13:00~17:00
4	興文 小学校	96	4	100	3	6月14日	木	9:00~12:00
5	牧田 小学校	19	1	20	1	6月15日	金	12:00~17:00
6	宇留生 小学校	92	5	97	3	6月19日	火	9:00~12:00
7	綾里 小学校	26	2	28	1	6月27日	水	13:00~17:00
8	青墓 小学校	71	3	74	2	6月28日	木	13:00~17:00
9	中川 小学校	124	5	129	4	6月29日	金	9:00~13:00
10	東 小学校	84	4	88	3	7月2日	月	9:00~13:00
11	静里 小学校	80	3	83	2	7月3日	火	9:00~12:00
12	墨俣 小学校	41	3	44	2	7月6日	金	12:00~17:00
13	安井 小学校	117	5	122	3	7月10日	火	9:00~12:00
14	一之瀬 小学校	6	1	7	1	7月13日	金	9:00~12:00
15	赤坂 小学校	82	3	85	2	7月18日	水	9:00~12:00
16	南 小学校	52	5	57	2	9月26日	水	9:00~12:00
17	荒崎 小学校	47	4	51	2	10月3日	水	9:00~13:00
18	江東 小学校	84	3	87	3	10月4日	木	9:00~12:00
19	川並 小学校	19	2	21	1	10月15日	月	9:00~12:00
20	北 小学校	124	4	128	4	10月24日	水	12:00~17:00
21	多良 小学校	17	2	19	1	11月20日	火	9:00~12:00
22	小野 小学校	138	5	143	4	11月30日	金	9:00~12:00
	合計	1,443	71	1,514	—	_		

1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する 理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

2) 学習内容

- ・AV シアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や 大垣の先賢等について学ぶ。
- ・船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を みつける(十六万市民投句に投句する)。

見学例(5月16日 西小学校)

時間	A	В	С
9:30~	先賢館・無何有荘	川湊散策	AV シアター
10:20	AV シアター	俳句作り	芭蕉館
10:20~	芭蕉館	先賢館・無何有荘	川湊散策
11:00		AV シアター	俳句作り
11:00~ 11:40	川湊散策 俳句作り	芭蕉館	先賢館・無何有荘

② よろづ芭蕉相談室

夏休みの自由研究や調べ学習のため、松尾芭蕉や『奥の細道』、大垣の先賢などに関心を持つ子どもたちに向けて、相談会を開催した。

月日	参加者
7月26日(木)	2人(小学校2年生:1/小学校4年生:1)
7月29日(日)	1人(小学校3年生:1)
7月31日(火)	1人(小学校6年生:1)
8月2日(木)	1人(小学校6年生:1)
8月7日(火)	3 人 (小学校 4 年生:1/中学校 1 年生:2)
8月8日(水)	1人(小学校6年生:1)
8月9日(木)	2人(小学校4年生:1/小学校5年生:1)

③ その他

大垣市内小学校6年生見学事業やよろづ芭蕉相談室の他に、依頼に応じて実施 した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月日	活動内容	備考
平成 30 年	大垣藩校とその学習内容	大垣市立興文小学校開校記念
8月21日(火)	(講義)	行事(5年生)
10月5日(金)	特別講座 はじめての俳句	岐阜県立岐阜北高等学校の
10万 5 日(金)	(講義)	オーストラリア短期留学生
11月7日(水)	振り返る『奥の細道』芭蕉・ 曽良 (寸劇)	大垣市立多良小学校3年生
11月15日(木)	奥の細道むすびの地記念館 一学芸員の仕事— (講義)	大垣市立西中学校1年生 「ふるさと大垣科」
平成31年2月8日(金)	振り返る『奥の細道』芭蕉・ 曽良 (寸劇)	大垣市立安井小学校3年生 「ふるさと大垣科」
2月20日(水)	振り返る『奥の細道』芭蕉・ 曽良 (寸劇)	大垣市立興文小学校3年生 「ふるさと大垣科」

(3) 博物館実習

3大学、5人を受け入れた。

① 実習概要

日時	平成30年7月20日(金)~26日(木) 8:45~16:40
場所	7月20日(金) 奥の細道むすびの地記念館
	21 日(土) 大垣市守屋多々志美術館
	22 日 (日) 昼飯大塚古墳・金生山化石館・歴史民俗資料館
	スイトピアセンター(3 階収蔵庫・会議室 3)
	23 日(月) スイトピアセンター(アートギャラリー)
	25日(水) 奥の細道むすびの地記念館
	26 日(木) 大垣市立図書館・北庁舎南館
実習生	岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科 3名
	大東文化大学 文学部 書道科 1名
	滋賀県立大学 人間文化学部 地域文化学科 1名

② 実習内容

安羽 n	
実習日	実習内容
7月20日	担当:上嶋康裕 学芸員、山﨑和真 学芸員
	1) 講話「所蔵作品・資料の管理について」
	・収蔵庫の見学と管理のしかた、留意点について
	・歴史資料を扱う際のルールや注意点
	2) 講話「展示見学」
	・展示資料の解説
	・展示の工夫
	3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」
	2 グループに分かれて、古文書の現状記録調査を行った。
	・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入
	・写真及びスケッチによる記録
	・中性紙封筒への保存の仕方
	・古文書の読み取り実習(くずし字用例辞典の活用)
	・古文書の開き方やたたみ方
7月25日	担当:上嶋康裕 学芸員、山﨑和真 学芸員
	1) 実習「企画展等展示及びギャラリートーク実習」
	・山﨑学芸員による企画展ギャラリートークをもとにした実習
	• 作品解説実習
	2) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」
	・赤坂宿本陣関係文書の現状記録作業

(4) 講師派遣

月日	講座・講演会名	内 容		
平成 30 年 4月 28 日(土)	大垣市かがやき出前講座	浅草三郷と治水		
5月7日(月)	上石津文化財保護協会講演会	江戸時代の身分と上石津地域 一武士と百姓の間に生きる 人々一		
5月26日(土)	JEUGIA カルチャーご当地講座	歴史ロマンス歴食 中山道赤坂 宿で味わう「皇女和宮御膳」と 赤坂宿散策		
6月6日(水)	大垣市かがやき出前講座	青墓の寺院史料からみる中世・ 近世の美濃		
6月28日(木)	大垣市かがやき出前講座	振り返る『奥の細道』芭蕉・曽 良 (寸劇)		
8月3日(金)	夏季研修講座「ふるさと大垣科」 俳句・文学講座	連句の歴史 一和歌から俳句まで―		
10月4日(木)	第 66 回全国地域婦人団体研究 大会岐阜大会	大垣の文化的環境 一芭蕉の来訪、そしてハンサム ウーマンの誕生—		
11月6日(火)	大垣市退職公務員連盟研修会	芭蕉と大垣の俳人との交流とそ の影響について		
平成 31 年 2月 6 日(水)	大垣市かがやき出前講座	大垣の先賢・那波光雄について		

3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に 関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開(情報発信)及び専門研究を行 うことを基本的な柱とする。

I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道 統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保 管、公開(情報発信)及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に 収集する。

II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星厳・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開(情報発信)及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事 や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開(情報発信)及 び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や 国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合 計
点 数	1,646 点	265 点	1,911 点

平成30年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資料名	数量	時 代
美濃派再和派道統図	1幅	昭和
盧元坊筆「常はその」句懐紙	1幅	江戸中期
『夏の山』	2 冊	江戸後期
『雑談集』	1 冊	江戸中期
『虚栗集』	1 冊	江戸中期
『芭蕉其角二翁正伝』	1 冊	幕末
『三四考』	1 冊	江戸後期
『三四考』(写本)	2 冊	江戸後期
『潮の花』	1 冊	明治
『八ゆふぐれ』	1 冊	江戸中期
『重鐫 日本歳時記』	4 ∰	江戸後期
森川許六「咲やこの花」句画賛	1幅	江戸中期
『俳諧 梧一葉』	2 册	江戸中期
『蓑虫庵小集』	1 冊	江戸後期
『ばせを翁正伝』	1 冊	江戸後期
『俳諧へんつき』(写本)	1 冊	江戸後期
『華つみ』 (写本)	1 冊	江戸後期
『去来文・丈草寐ころび草』(写本)	1 冊	江戸後期
『玄峰集』(写本)	1 冊	江戸後期
『嵐雪句集』	2 ∰	明治
谷木因筆「薺うつ日や」等七句懐紙	1幅	江戸中期
『文星観』	1 冊	江戸中期
野村藤陰筆七言絶句四首屏風	1 双	幕末~明治
小原鉄心筆七言絶句「百計新民彼一時」	1幅	幕末~明治
菱田海鴎筆七言絶句「苦学欲酬君父思」	1幅	幕末~明治
菱田海鴎筆七言絶句「雪従枯木一鴉寒」	1幅	幕末~明治
江馬細香筆墨竹図屏風	1双	江戸後期~幕末
江馬細香筆五言絶句「六十年間筆」	1幅	江戸後期~幕末
江馬細香筆五言絶句「庭前風動竹」	1幅	江戸後期~幕末
江馬細香筆五言絶句「僻居無一事」	1幅	江戸後期~幕末
江馬細香筆墨竹図	1幅	江戸後期~幕末
江馬細香筆墨竹図	1幅	江戸後期~幕末
江馬細香筆蘭竹図	1幅	江戸後期~幕末
前田呉耕筆 杉山杉風筆写 芭蕉坐像	1幅	明治~昭和

資料名	数量	時 代
伊勢門水筆 蕉門俳人図	1幅	明治~昭和
高木百茶坊筆「もみ入て」句文懐紙	1枚	江戸後期
岡崎風廬坊筆「書直す」等二句懐紙	1枚	江戸後期
山本友左坊筆「かこつより」句文懐紙	1枚	江戸後期
三浦雲居筆七言絶句色紙	1枚	明治
以哉派道統発句懐紙	1枚	明治

(2) 購入資料

資料名	数量	時 代
『蕉翁独吟五歌仙考』	1 ∰	江戸後期
可伸庵図	1枚	明治
『市の庵』	1 ∰	江戸中期
『齱齵断方 やきおほ根』	1 ∰	江戸中期~後期
『雪門七部 むさし野三歌仙』	1 冊	江戸後期
『青田のさそひ』	2 ∰	江戸後期
『天保改刻 平安人物誌』	1 ∰	幕末
『慶応改刻 平安人物誌』	1 ∰	幕末
『星巌集』	12 ∰	幕末
『古今南画要覧』	1枚	幕末
『古今名家新撰南画一覧』	1枚	明治
『画乗要略』	2 ∰	幕末
『芭蕉翁一周忌』	1 冊	江戸中期
芭蕉書簡等貼交幅	1幅	江戸中期~後期
『焦尾琴』	1 冊	江戸中期
『辛未発句塚墨直』	1 冊	江戸後期
『照月集』	1 ∰	江戸後期
『追善手向の霜』	1 ∰	江戸後期
『俳諧 衣裳塚』	1 ∰	江戸後期
中西耕石画 小原鉄心賛 七言絶句	1幅	明治
梶曲阜画 芭蕉涅槃図	1幅	江戸後期
『蕉風俳諧 名家自筆 万春楽』	1 ∰	幕末
『篇突』	1 ∰	江戸中期
『桜の懐古』	1 ∰	明治
『韻塞』	1 ∰	江戸中期
『誹諧寂栞』	3 册	江戸後期
『春光集』	1 ∰	明治
『祖翁二百年回建碑録』	1 冊	明治

資 料 名	数量	時 代
『声の栞』	1 ∰	江戸後期
横井金谷画 六俳聖図	1幅	江戸後期
谿雪斉画 谷木因賛 稚松二扇図画賛	1枚	江戸中期

(3) 預託資料

資 料 名	数量	時 代
小原鉄心・梁川星巌等詩句寄書	1幅	幕末~明治
土佐光孚画正月三幅対	3幅	江戸後期
麦林 (乙由)「花よりも」句文	1幅	江戸中期
本居大平画賛契忠・賀茂真淵・本居宣長像	1幅	江戸中期~後期
芭蕉・支考・廬元坊貼交幅	1幅	江戸中期
芭蕉筆「火中の書簡」(曲水宛芭蕉書簡)	1幅	江戸中期
廬元坊筆「さくらにも」句芭蕉像	1幅	江戸中期
芭蕉筆「ひょろひょろと」発句自画賛	1幅	江戸中期
木因筆女郎花画賛解釈	1幅	江戸中期
竹老人宛蓮二(支考)書簡	1幅	江戸中期
支考筆獅子庵終焉記	1幅	江戸中期
麦庵筆 杏溪画 蕉門十哲図	1幅	江戸後期
麦庵筆 杏溪画 獅子門道統十六世肖像	1幅	江戸後期
曙庵受統賀章	1幅	江戸後期
麦庵識尊公尊像	1幅	江戸後期
梔庵筆西阿坊画像	1幅	江戸中期
鴻雪爪筆「乾坤の」句文	1幅	幕末~明治
竹夜画 廬元坊賛画賛	1幅	江戸中期
芭蕉翁・獅子老人肖像二幅対	2幅	江戸後期
廬元坊筆「名月や」句一行物	1幅	江戸中期
越前三国烟潤三筆三十六歌仙画像四幅対	4幅	江戸後期
魯松庵賛 杏溪画 俵に鼡図	1幅	江戸後期
再和坊筆「初年は」句一行物	1幅	江戸中期~後期
魯松庵賛 杏溪画起上り小法師図	1幅	江戸後期
廬元坊筆句文並石峯画廬元坊肖像	1幅	江戸中期
杏々庵賛鬼の念仏	1幅	江戸後期
麦庵筆 春諷画奥の細道徑回の終如行宅集会図	1幅	江戸後期
俊明画孝子牛乗図	1幅	江戸後期
俊明画支考像	1幅	江戸後期
麦庵賛 桂園画 芭蕉翁肖像	1幅	江戸後期
曙庵筆銀盃拝領五句	1幅	江戸後期

資料名	数量	時 代
大綱賛 保全画狐図	1幅	江戸後期
白隠禅師筆「龍」書	1幅	江戸中期~後期
遂翁画布袋図	1幅	江戸中期~後期
落花仙画 五竹坊筆「よしのにて」句芭蕉像	1幅	江戸中期~後期
五升庵蝶夢筆書簡	1幅	江戸中期~後期
藤原広蔭筆「松下に尉と嫗の歌」幅	1幅	江戸中期~後期
八橋山売茶禅翁書	1幅	江戸中期~後期
良潭清水賢幅	1幅	江戸後期
五竹坊発句自画賛	1幅	江戸中期~後期
五竹坊像	1幅	江戸後期
知恩院松翁 執文字	1幅	明治
松翁筆「美濃北方西運寺俳門歴世碑碣記」	1幅	明治
名護屋伊藤祐了筆阿弥陀経并釈教如和歌	1幅	江戸後期
月亭画 杜匡賛「花に月」句画賛	1幅	江戸後期
支那人金那画瀧之図	1幅	明治
遠山禅外老賛布袋和尚図	1幅	幕末~明治
霞山撨人画菊図	1幅	江戸後期
無量老人筆「煤しらず」歌文	1幅	江戸後期
雪雄賛 友汀画「春の草」句画賛	1幅	江戸後期
岩崎村雲松院萬友禅師筆蹟	1幅	江戸後期
杏溪画西行法師銀猫を童子に与ふ図	1幅	江戸後期
立政寺勧空僧正筆蕉羅仏	1幅	江戸後期
木翁達磨画賛図	1幅	江戸中期
龍水筆事々無碍法弁幅	1幅	江戸後期
禅外和尚筆窮無弁幅	1幅	幕末~明治
禅外賛 龍水画曙庵画像	1幅	幕末~明治
魯松庵筆「越後より数度の文通」貼交幅	1幅	江戸後期
麦庵筆 杏溪画獅子門道統十五世図	1幅	江戸後期
麦庵筆耕月庵発句切	1幅	江戸後期
知識道歌画像 初之部	1幅	江戸後期
知識道歌画像 後之部	1幅	江戸後期
道統授与発句様并自祝吟	1幅	江戸後期
魯松庵筆五竹坊像	1幅	江戸後期
桂園画 麦庵書 落葉の高唫	1幅	江戸後期
桂園画 麦庵書 踊図	1幅	江戸後期
蕉翁・獅子老人・盧元坊・五竹坊四世伝統真像	1幅	江戸後期
杏溪画 魯松庵賛「道の花咲や」句画賛	1幅	江戸後期

資料名	数量	時 代
杏渓画 魯松庵書 曙四時返唫	1幅	江戸後期
麦庵筆 梅花和詩	1幅	江戸後期
魯松庵宗匠像自画自賛	1幅	江戸後期
杏溪画 麦庵・曙庵賛 鬼念仏	1幅	江戸後期
魯松庵筆 布袋和尚画賛	1幅	江戸後期
桂園画 曙庵他 2 名賛 曙庵薙髪句画賛	1幅	江戸後期
桂園画 曙庵他 4 名賛 芭蕉像	1幅	江戸後期
春帆画 麦庵書 麦庵宗匠曙庵江附属祝唫	1幅	江戸後期
直哉画 魯松庵賛 祖翁図	1幅	江戸後期
魯松庵「里へ出て」句画賛	1幅	江戸後期
麦庵筆獅子門本流道統十六世肖像	1幅	江戸後期
魯松庵心の字発句幅	1幅	江戸後期
春帆画 麦庵書 曙庵受統自祝返唫	1幅	江戸後期
春帆画 麦庵筆「獅子老人一枚起請文」画賛	1幅	江戸後期
春帆画 麦庵書 梅十論	1幅	江戸後期
十五世句幅	1幅	江戸後期
曙庵ノ筆俳人百人句	1幅	江戸後期
野村藤陰筆 俳諧五條式	1幅	幕末~明治
野村藤陰筆 俳諧十徳	1幅	幕末~明治
雨岡庵「時雨せぬ」句幅	1幅	江戸後期
梔庵筆幅 (庵甫什)	1幅	江戸後期
雨松庵琴二筆幅	1幅	江戸後期
野村藤陰筆 執筆十箇徳	1幅	幕末~明治
九世徐風庵宗匠筆 正風歴代八世高唫	1幅	江戸後期
竹圃筆 曙庵「借る身にも」句画賛	1幅	江戸後期
道統五世朧庵再和坊真蹟	1幅	江戸中期~後期
一乗庵画并讃	1幅	江戸後期
森々庵宗匠真像	1幅	江戸後期
五竹坊筆立秋七句	1幅	江戸中期~後期
五竹坊筆「酒のめい」句文	1幅	江戸中期~後期
備前国岡山産四哲真蹟	1幅	江戸後期
布袋和尚図 (友左坊賛)	1幅	江戸後期
布袋和尚図(再和坊賛)	1幅	江戸中期~後期
森々庵松後師真蹟「千代の春の」句	1幅	江戸後期
黄鸚老師像	1幅	江戸後期
祖翁病中ノ図等貼交幅	1幅	江戸後期
野村藤陰筆 大聖孔子尊像	1幅	幕末~明治

資料名	数量	時 代
耕月庵宗匠真蹟 吉野山・嵐山両吟	1幅	江戸後期
道統九世徐風庵真像	1幅	江戸後期
雨松庵・琴二合作幅	1幅	江戸後期
梔庵西阿房真蹟	1幅	江戸後期
雨松庵筆「有明を」句	1幅	江戸後期
五竹坊筆「仰向て」句自画賛	1幅	江戸中期~後期
萍風舎巴雲画 梔庵・如雲賛 牛図	1幅	江戸後期
小原家紋付脇差	1 振	幕末~明治
魯松庵筆画「蕉門俳人図」(2曲1隻)	1隻	江戸後期
魯松庵筆画「古俳諧・蕉門俳人図」(6曲1隻)	1隻	江戸後期
小原鉄心筆「暁雪」書	1枚	幕末~明治
小原鉄心筆「風顚月癡」書	1枚	幕末~明治

(4) 資料補修

資 料 名	数量	時 代
谷木因筆「供烏帽子」等二句懐紙	1幅	江戸中期

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 平成30年度

発 行 日 平成31年3月31日 編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-0888

岐阜県大垣市丸の内2丁目55

TEL:0584-47-8067(文化振興課 直通) FAX:0584-81-0715